

## 第3次南魚沼市スポーツ推進計画

# 「市民の健康スポーツプラン」



令和4年3月

南魚沼市教育委員会

## 目 次

<b>第1章 第3次南魚沼市スポーツ推進計画の基本的事項</b> . . . . .	<b>1</b>
1 計画の趣旨 . . . . .	1
2 計画の位置づけ . . . . .	1
3 計画期間 . . . . .	1
4 推進組織 . . . . .	2
5 スポーツの定義 . . . . .	3
6 基本理念 . . . . .	3
7 基本方針 . . . . .	4
8 上位・関連計画等におけるまちづくりの方向性 . . . . .	5
9 雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクト（地域再生計画） . . . . .	6
10 SDG sに対する考え方 . . . . .	8
<b>第2章 計画推進のための具体的事項</b> . . . . .	<b>11</b>
1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進 . . . . .	11
2 スポーツ環境の整備・充実・利用 . . . . .	17
3 子ども（幼保・小・中）のスポーツ機会の充実 . . . . .	18
4 競技スポーツの推進 . . . . .	19
5 「ささえる」スポーツの推進（官民連携・地域間連携によるスポーツ推進体制の整備） . . . . .	21
<b>資 料 編</b> . . . . .	<b>23</b>
策定経過 . . . . .	24
スポーツ推進審議会委員名簿 . . . . .	25
令和3年度スポーツに関するアンケート調査（結果） . . . . .	26
南魚沼市ウォーキングコース（新潟県健康ウォーキング認定） . . . . .	35
南魚沼健康ポイント事業 . . . . .	38

# 第1章 第3次南魚沼市スポーツ推進計画の基本的事項

## 1 計画の趣旨

本市では、平成24年度から南魚沼市スポーツ推進計画を策定し、スポーツによる豊かな生活の実現を目指して、地域におけるスポーツ施策を推進してきました。

この間に社会情勢や経済、市民のライフスタイルなどが変化し、より新しい課題や問題へ対応することが求められています。

そこで、市の最上位計画である「第2次南魚沼市総合計画 後期基本計画」との整合性に留意し、スポーツ基本法、第2次スポーツ基本計画や新潟県スポーツ推進プランを参考として、スポーツを取り巻く社会情勢と本市の実情に即した取組を進めていくため、令和4年度以降の計画として、第3次南魚沼市スポーツ推進計画を策定するものです。

次代を担う青少年が他者との協働と規律を学びつつ育成され、地域に深い絆が存在し、健康な長寿を享受できる社会、スポーツを通じてすべての市民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を目指します。

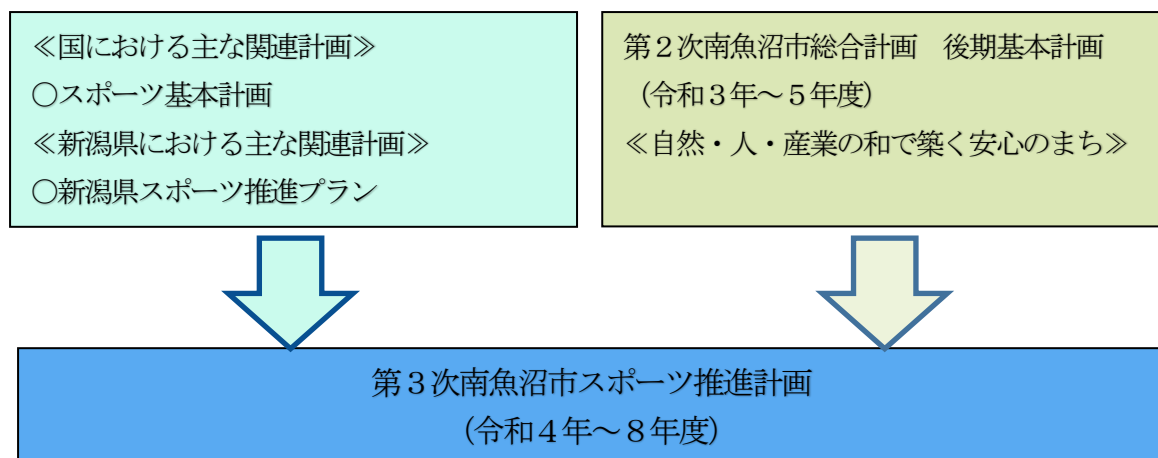
## 2 計画の位置づけ

上位計画である「第2次南魚沼市総合計画 後期基本計画」の具体的推進を図るスポーツ部門の計画として、また、スポーツ基本法第10条に定める地方スポーツ推進計画です。

## 3 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。なお、計画期間中であっても、新たに取り組むべき事項や社会情勢の変化などにより計画の見直しが必要な事項等が生じた場合は、必要に応じて見直すこととします。

《国・県・市の各計画との関連体系》



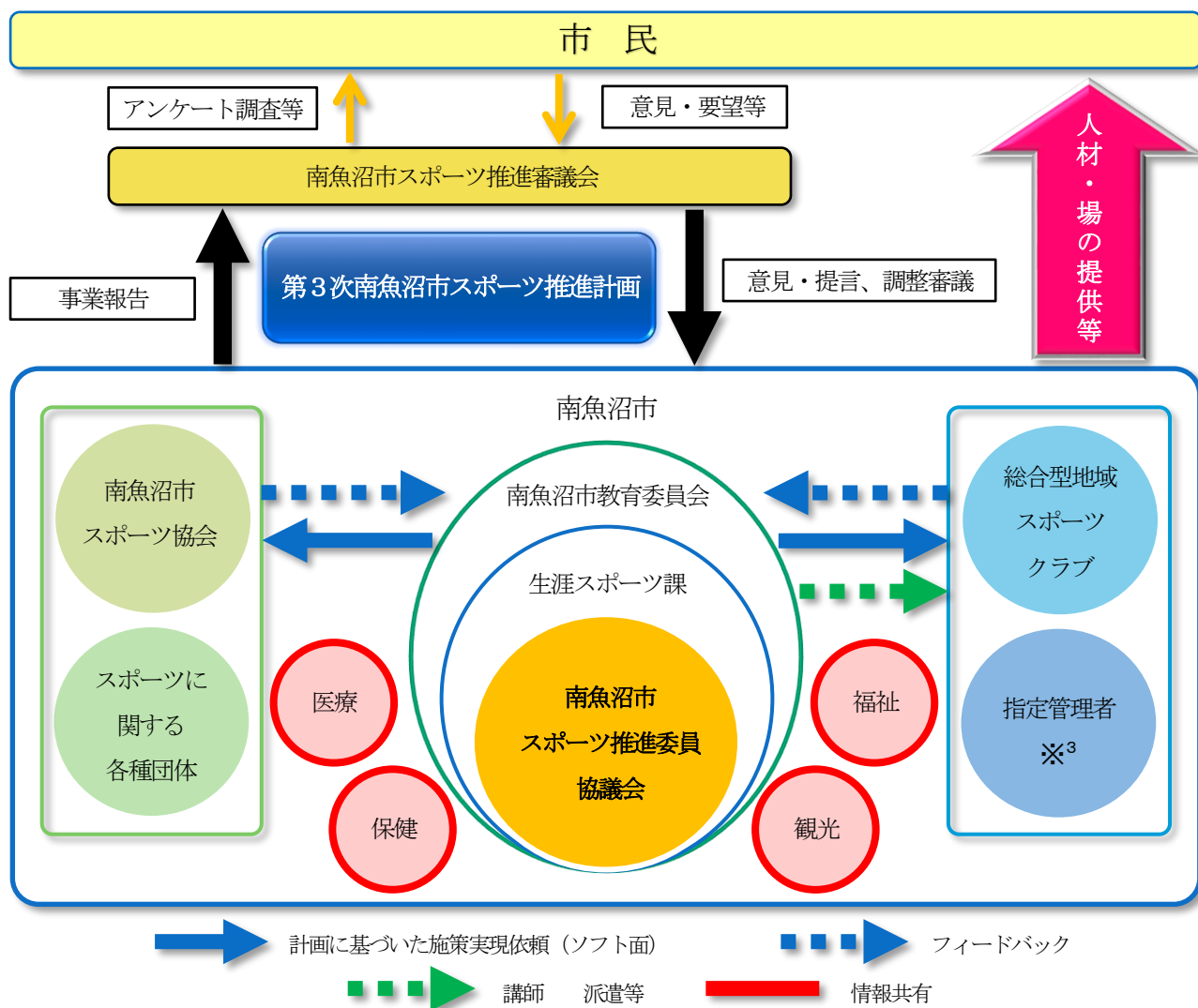
## 4 推進組織

本計画を推進するために、国、県及び各種スポーツ団体などの関係機関との連携を図りながら具体的な施策を定めます。また、南魚沼市スポーツ推進審議会において、評価及び進行管理を行います。さらに事業評価の確認やスポーツに関する市民のニーズ、現状を把握するため、計画期間の最終年度に市民アンケートを実施します。

また、イベントの開催方法の見直しなど、地域スポーツコミッション※<sup>1</sup>やコンソーシアム※<sup>2</sup>を活用した取組に向けた体制整備を推進します。

※<sup>1</sup>スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していく組織の総称。地方公共団体やスポーツ団体などが一体として活動している常設の組織。

※<sup>2</sup>個人、企業、団体、政府から成る団体であり、共同で目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かって資源を蓄える目的で結成される組織（協会）。



※<sup>3</sup>公の施設（住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設）を管理する民間等団体。文化スポーツ振興公社、ベースボール・マガジン社など。

## 5 スポーツの定義

本計画において「スポーツ」とは、競技スポーツなど一般的なスポーツに加え、ウォーキング、ラジオ体操や軽い体操、野外活動（ハイキング、登山、キャンプ、サイクリング、海水浴など）、スポーツとして行われるレクリエーション活動など、目的意識を持ったあらゆる身体活動を含むものとします。また、スポーツ観戦等の「みる」スポーツや、スポーツイベントのボランティア活動等の「ささえる」スポーツも含んでいます。

(参考) スポーツ基本法 平成 23 年 8 月施行 (前文一部抜粋)

- スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である。
- 全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。
- スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。
- スポーツは、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。
- スポーツ選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営みであり、こうした努力に基づく国際競技大会における日本人選手の活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を高めるものである。これらを通じて、スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである。
- スポーツの国際的な交流や貢献が、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するなど、スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割を果たすものである。

## 6 基本理念

スポーツは体力の向上、健康の維持増進だけではなく、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、人とのつながりを生み出すなど、心の豊かさを育む文化です。市民一人ひとりが自ら健康づくりに関心を持ち、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しめる環境や次代を担う子ども達が夢や希望を抱けるような環境を整え、スポーツを通じて生涯にわたって心身ともに豊かな生活を実現するため、本計画は

**「スポーツによる豊かな生活の実現」**

を基本理念とします。

## 7 基本方針

基本理念実現のため、以下の5つの基本方針に基づいた取組を実施します。

### (1) ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らし続けられるように、地域のスポーツクラブや主体的に活動する市民団体の育成・支援に努め、いつでも、身近な場所でスポーツを継続して楽しめるような環境を整備します。

### (2) スポーツ環境の整備・充実・利用

誰もが行きたくなる施設をめざし、学校体育施設及び社会体育施設の整備を進め、利用促進を図ります。

### (3) 子ども（幼保・小・中）のスポーツ機会の充実

生涯にわたって健康で豊かな生活を送れるよう、子どもの頃からスポーツに親しむことを習慣づけ、運動に苦手意識を持たせることなく、安全に配慮しながらスポーツの楽しさを広め、部活動の外部指導員の活用も視野に取り組みます。

### (4) 競技スポーツの推進

子ども達に競技スポーツへの入口を示し、部活動の外部指導員の活用による指導者の資質向上とともにトップレベルの選手育成を推進します。

### (5) 「ささえる」スポーツの推進（官民連携・地域間連携によるスポーツ推進体制の整備）

官民連携によるスポーツ推進体制を整備するとともに、地域を上げてスポーツを支援する体制を整備します。また、サイクルスポーツの振興など広域連携（地域間連携）によるスポーツ推進体制を整備します。



保育園 出張スラックライン体験

運動遊び・身体を動かすことの楽しさ  
スラックラインの基本を学んで面白さを体感

心身ともにリフレッシュ  
ボールを使ってエクササイズ



高齢者向け ボディメイキング教室

## 8 上位・関連計画等におけるまちづくりの方向性

本市が目指す将来像（第2次南魚沼市総合計画の概要）

項目	内容
計画期間	平成28年度～令和7年度
将来像	自然・人・産業の和で築く 安心のまち
将来像実現のための基本理念	(1) 郷土を愛し、一人ひとりがつくるまち (2) 人の和で支えあう安心のまち (3) 力強い産業が育ち、働く魅力がたくさんあるまち (4) 新しい課題に柔軟に対応する行政組織をもつまち
まちづくりの目標	【保健・医療・福祉】 地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち 【教育・文化】 学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち 【環境共生】 豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち 【都市基盤】 住みたい、住み続けたいまち 【産業振興】 豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち 【行財政改革・市民参画】 世界にひらく市民が誇りをもてるまち



## 9 雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクト（地域再生計画）

### 【目 標】

市が地方創生として目指す将来像は、すべての市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現に向けた、スポーツ・健康づくりの分野から進めるまちづくりです。

市内の様々なスポーツ施設を「総合型地域スポーツクラブ」の拡充によって大幅な利用促進を実現し、市民の幅広い世代におけるスポーツ人口の拡大とスポーツを身近に感じられる環境づくりの実現を目指します。これを加速させるため、これまでの市主導型から官民連携型への移行をさらに進め、スポーツ・保健分野のみならず、地域活性化や地域イノベーションの視点から企業や大学、地域間との連携を効果的に行い、目標実現に向かって事業を進めていきます。

また、全国有数の豪雪地帯である当市において市民の除雪作業は、市民生活や健康面で大きなリスクとなっています。本事業では、雪国の長年の課題である除雪作業をスポーツの視点から検証・分析し、民間企業との共同研究によって除雪作業の運動量をデジタルに可視化して、スマートフォンで測定できるアプリケーションプログラムを開発することを契機とした地域イノベーションの創出に向けた取り組みを行い、長年の雪国の課題解消に挑みます。

さらに、盆地や山間の広範囲に市街地や集落が点在する本市の地理的条件から、現在の地域の移動手段はほとんどが自動車ですが、本事業では健康づくりの取組みとともに、脱炭素社会の実現、交通分散率の向上といった環境面へ配慮した地域社会の実現を目指した取組を、市民生活における自転車の活用を推進する事業で展開します。

このようなスポーツ・健康づくりの取組みを、産官学連携や地域間連携など新たな視点から再検証し、市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現に向けて事業を進めていきます。

### 健康増進 プロジェクト

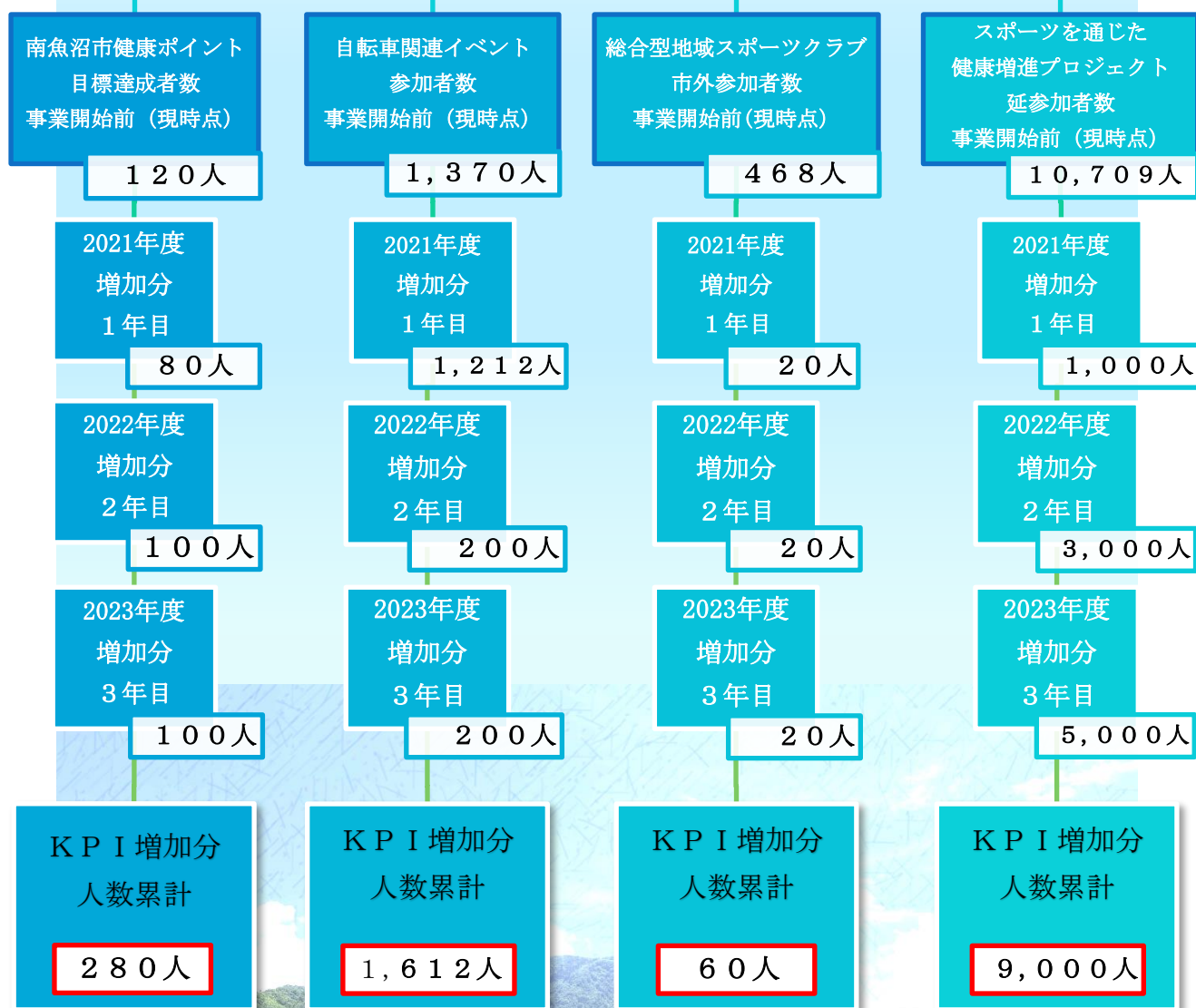


### —環境面へ配慮した取組— 広域サイクリングルート 「南魚沼 Golden Cycle Route」





雪国で共に創るスポーツを通じた  
健康増進プロジェクト(地域再生計画)  
【数値目標 K P I】



## 10 SDG sに対する考え方

平成27（2015）年9月の国連サミットにおいて、国際社会全体の普遍的な目標である2030年までの**持続可能な開発目標（SDG s : Sustainable Development Goals エスディージーズ）**が採択されました。

これを受けて、国は平成28（2016）年に「SDG s実施指針」を決定した。この指針では、人口減少などの課題解決のためにSDG sを原動力とした地方創生を推進することが、地方自治体の役割として期待されています。

本市においても、地方創生の推進に向けて、本計画にSDG sの要素を反映して分野横断的に取り組むとともに、SDG sを介した官民連携による地域課題の解決を一層推進させる必要があります。



## 【スポーツと持続可能な開発（SDGs）】

スポーツ庁は、スポーツ基本法の理念である「スポーツを通じて『国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む』ことができる社会の実現」を目指しており、このSDGsの達成にスポーツで貢献していくこととしております。

基本方針にあてはめて考えられる事例として、「国際連合広報センター」がウェブサイトに掲載している内容を参考にすると、以下のものがあります。

### 基本方針1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進



目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

運動とスポーツは、アクティブなライフスタイルや精神的な安寧の重要な要素です。生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らし続けられるような環境を整備します。

### 基本方針2 スポーツ環境の整備・充実・利用



目標11：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

気軽に利用できるスポーツ施設やサービスは、他の方面での施策で包摂的かつ強靱な都市と居住の模範例にもなりえるため、学校体育施設及び社会体育施設の整備を進め、利用促進を図ります。

### 基本方針3 子ども（幼保・小・中）のスポーツ機会の充実



目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

スポーツを中心とするプログラムは、初等・中等教育以後の学習機会や、職場や社会生活でも応用できるスキルの取得に向けた基盤にもなりえます。スポーツに親しむことを習慣づけ、運動に苦手意識を持たせることなく、スポーツの楽しさを広めます。

### 基本方針4 競技スポーツの推進



目標8：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセント・ワークを推進する

スポーツはより幅広いコミュニティを動員し、スポーツ関連の経済活動を成長させる動機にもなります。子ども達に競技スポーツへの入口を示し、部活動の外部指導員の活用による指導者の資質向上とともにトップレベルの選手育成を推進します。

## 基本方針5 「ささえる」スポーツの推進

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



目標5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

スポーツを中心とする取り組みやプログラムが、ジェンダーの平等とその実現に向けた規範や意識の変革を、スポーツとの関連で進めることもできます。市民の意識が変わり（心のバリアフリー）、共生社会が実現されることを目指します。

10 人や国の不平等  
をなくそう



目標10：国内及び国家間の不平等を是正する

スポーツは、その人気と好意度の高さにより、手を差し伸べることが難しい人々の不平等に取り組むのに適したツールといえます。障害者をはじめ配慮が必要な多様な人々が、スポーツを通じて社会参画できるよう環境整備（障害者スポーツ指導者やボランティア育成など）を進めます。



南魚沼市でおこなわれているさまざまなスポーツ教室、大会、イベントの様子

## 第2章 計画推進のための具体的事項

### 1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

#### 【目 標】

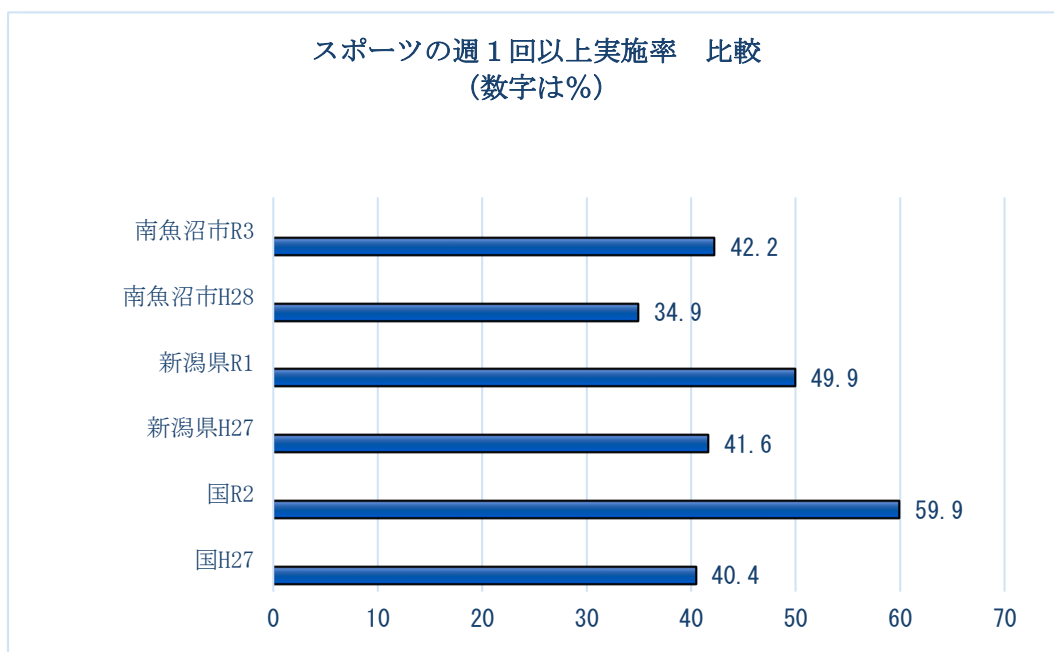
成人の週1回以上のスポーツ実施率 50%以上

#### 【現状と課題】

- (1) 成人の週1回以上のスポーツ実施率 42.2% (平成28年 34.9%)  
上記、未実施者で週1回以上希望者 82.3% (平成28年 82.0%)  
実施可能条件上位3つ ①時間ができれば 36.8% (平成28年 36.7%)  
②近くに施設があれば 20.4% (平成28年 21.8%)  
③費用が安く済めば 15.4% (平成28年 14.6%)
- (2) 冬期間、屋外で行うスポーツが少ないため、全国、新潟県内でも比較して実施率が低い状況である。
- (3) 週1回の未実施者でも、スポーツ教室の内容によれば参加したい意向はある。
- (4) スポーツ未実施率の低い年齢層が見られる。

50歳代男性 (スポーツ引退層) 32.1%

40歳代女性 (子育て世代) 29.7%



生涯にわたってスポーツを楽しむ、その効果による健康増進への市民の期待が高まっており、市民の誰もが気軽にスポーツができる環境、気軽に参加できるイベントの充実が求められています。

トレーニングセンターの機能強化、「スケートパーク」やハーフパイプ施設「モンスターパイプ」の整備等、アクションスポーツ並びに市営体育施設の充実を図っており、市内外から多くの人々が利用しています。



### 南魚沼市トレーニングセンター

平成 29 年 4 月に市民の健康推進とスポーツ活動の拠点施設としてトランポリンやボルダリングなどが導入されリニューアルオープンしました。



### 南魚沼市スケートパーク

平成 29 年度秋、スケートボード、BMX、インライン・スケートの競技施設として公設では県内初の屋外全面コンクリート製のパークが完成しました。滑走可能面積 2,100 平方メートル。



### ガンホー・モンスターパイプ

平成 30 年 2 月に国内最大級の全長 170 メートル幅 22 メートルのハーフパイプとしてグランドオープンしました。平成 30 年度にはナイター照明が整備され夜間利用も可能になりました。

平成 15 年に設立された総合型地域スポーツクラブ「南魚沼スポーツパラダイス」に加え、平成 31 年に第 2 の総合型地域スポーツクラブ「スポーツ&ライフ南魚沼」が設立されスポーツを楽しむ機会の充実が図られています。その一層の活用に向け、大手スポーツ企業と連携したスポーツイベントの開催や、これまでに行われていない分野のスポーツ教室等の実施が期待されています。



ディスポート南魚沼  
「水泳教室」

総合型地域スポーツクラブ



南魚スポーツパラダイス

平成 31 年 4 月設立

総合型地域スポーツクラブ  
**スポーツ&ライフ南魚沼**



南魚沼市トレーニングセンター  
「ボルダリング」

## 【取組事項】

### (1) ウォーキングロードの啓発・利用促進

#### ア 新潟県健康ウォーキングロード

身近で手軽な「ウォーキング」を生活に取り入れてもらえるよう、安全性や快適性などの一定の基準を満たす市内ウォーキングコースを新潟県「健康にいがた21」に登録し、認定されています。

地域	コース名	
大和地域	天地人毘沙門堂 ウォーキングコース	八色の森公園コース
六日町地域	天地人坂戸城跡・銭淵公園 ウォーキングロード	六日町駅前通り・兼続地区 まち歩きコース
塩沢地域	天地人上田の庄・登川 ウォーキングロード	ゆきぐに牧之通りまち歩きコース



市内ウォーキングロードのテーマは自然散策から文化・美術探訪、神社仏閣めぐりまでであり、短距離コース（1～5Km）、中距離コース（5～20Km）の合わせて6コースが登録されています。

※資料編にコース案内図を掲載しております。

イ 上記以外、大原運動公園多目的グラウンド外周コースなどの活用を図る。各まちづくり協議会等と連携し、地域のウォーキングコースの周知を進めます。



大原運動公園 野球場・多目的グラウンド

## (2) 地域資源を活用したウィンタースポーツの推進

### ア アルペンスキー

市内にスキー場を有する地の利を活かして、スキーに親しむことで、体力増進を図ります。生涯にわたりスキーに親しめるよう、学校体育でのスキー授業や、スキー場協議会と連携した親子スキー教室の開催を目指します。

### イ クロスカントリースキー（ノルディックスキー）

冬期間のウォーキングに代わるスポーツとして、クロスカントリースキーの普及を図ります。市内小学校では、冬期課外授業として、クロスカントリースキーを実施しています。



「ノルウェー大使杯争奪スキー大会」  
欠之上クロスカントリーコース



地域資源活用「初心者アルペンスキー教室」

## (3) ウィンタースポーツ以外での運動不足に対する取組

ア 冬期間でも室内施設や在宅で行うことのできるオンラインを活用したスポーツ、運動の普及を推進します。

イ 各集落単位においてスポーツ・運動を習慣づける取組。福祉保健部主管の「筋力づくり教室」や健康推進委員の活動とタイアップした企画を立案・推進します。



ココロもカラダも元気に！「卓球教室」



中高年向け「フラダンス教室」



若者向け「パワーヨガ教室」

## (4) 自転車を活用した健康づくりへの取組

ア 自然環境や地域特性を活かした生涯スポーツとしてのサイクリング事業を、「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」と連携して実施します。



### RIDE ON 南魚沼プロジェクトとは？

自転車による「まちづくりプロジェクト」  
自転車を軸に、地域資源を活用し  
南魚沼の課題にみんなで挑戦する！  
スポーツの力で地域を元気に！





イ 南魚沼市民の健康づくりサポートレンタサイクルサービス「Sapochari（サポチャリ）」を市民の方々に広く情報発信し、自転車利用促進を図ります。



### Sapochari（サポチャリ）とは？

「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」の一環として市民の自転車利用促進と持続可能な健康づくりを目的としたレンタサイクルサービスです。

貸出を行う自転車は、最新スポーツタイプ電動アシスト付き自転車で体力や筋力に自信がない女性でも感動的な走りを体感することができます。

「地方創生推進交付金」を活用し令和3年度から3年間の実証実験を行い、将来的な本格運用を目指します。



### (5) 市独自のアクションスポーツ施設であるスケートパーク、モンスターパイプ、トレーニングセンターの利用促進、生涯スポーツとしての取組

ア 市民の健康増進と競技スポーツの拠点施設として、初心者から上級者まで競技を楽しめる設備となっており、生涯スポーツの場としての利用促進を図ります。

イ モンスターパイプは国内最大級の施設であり、生涯スポーツのみならず競技スポーツへの取組により選手の技術力向上、プロ選手への育成を図ります。

### (6) 総合型地域スポーツクラブの充実

ア 2つの総合型地域スポーツクラブの連携強化、自主事業の拡充など、多様な教室・メニューを提供することにより、スポーツ環境の充実・活性化を図ります。

イ 総合型地域スポーツクラブの充実により、多様なスポーツイベント等の開催や誘致を推進します。



5 cm 幅のラインの上でバランスをとる「スラックラインパーク」



全国レベルの高校野球を楽しめる「高校野球招待試合」

## (7) スポーツ低実施率層の改善

ア ウォーキングの訴求や、「プラス・テン (+10)」活動※<sup>4</sup>などを参考に、南魚沼市独自のスポーツ指標を設け、スポーツ実施率の向上を目指します。

※<sup>4</sup>普段より 10 分多くからだを動かし健康寿命をのばす活動

イ スポーツに取り組むきっかけづくりを行うため、南魚スポーツパラダイス及びスポーツ&ライフ南魚沼等、ジュニア教室と同じ時間帯に保護者向けの教室を開講するなど、子育てから離れたのちにスポーツに親しめるよう基礎作りを行います。

ウ 健康志向のターゲット向けに、健康ポイント等の企画を立案してスポーツ実施率の向上を図ります。併せて、オンラインスポーツの推進による健康づくり人口のボトムアップを図ります。

エ 市報・ウェブサイト等広報ツールを活用し、スポーツ・運動の有用性や、体を動かすことの楽しさをアピールします。



南魚沼健康ポイント公式マーク・周知ポスター



スマートフォンアプリを活用した  
オンラインの中でウォーキング事業



## (8) その他

ア 生涯にわたって誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しめ、健康で豊かに暮らし続けられるように、地域のスポーツクラブや主体的に活動する市民団体の育成・支援に努めます。

イ 青年期から高齢期にかけて、日常生活の中で自分に適した運動やスポーツに親しむ機会を拡充し、心身の健康増進、仲間づくり、夢の実現を図るなど、すべての市民が自分らしくスポーツを楽しみ、豊かな人生を実現するための取組を行います。



毎年開催「南魚沼市民登山」



保護者伴走可のチビっ子の部もあります!  
「さわやかジョギング大会」



レンタサイクルサービス  
Sapochari-サポチャリ-

## 2 スポーツ環境の整備・充実・利用

### 【目 標】

市民1人当たりの指定管理体育施設の利用回数の増加 5.38回（現状 5.14回）  
 学校開放体育館稼働率の向上 59.2%（現状 51.4%）

### 【現状と課題】

- (1) 屋内スポーツ施設が地理的に偏っていることへの不満がある。
- (2) 体育施設利用方法の広報や周知が不十分である。
- (3) 条件の良い体育施設が飽和状態となる一方で、特定曜日における指定管理施設及び学校体育施設の利用率が低迷している。

### 【取組事項】

- (1) スポーツ施設の適切な維持管理を行うことにより、快適な利用環境を提供します。  
 ふるさと納税制度を活用したGCF（ガバメントクラウドファンディング※<sup>5</sup>）による体育施設整備も検討します。

※<sup>5</sup>不特定多数の人が自治体の問題解決のために、財源の提供や協力などを行うこと。

ア スポーツ施設の利用しやすい環境整備を推進し、利用促進を図ります。

イ 豊かな自然環境や地域特性を活かして、スキーをはじめとする様々なスポーツを通じた健康づくりや、スポーツツーリズム等を介した交流拡大を図ります。また、スポーツの振興に向け、指導者の確保・育成に取り組むとともに、大会の誘致や施設の更なる充実を図ります。

ウ 冬期間の健康づくり不足を雪国の課題として、体育施設などの利便性向上、全天候型屋内体育施設、旧学校施設を活用した施設整備に取り組みます。また、冬期間の駐車場問題（狭小、未除雪など）の解消に取り組みます。

エ 施策の達成目標・重要業績評価指標（KPI）

目標の名称	R1 現在値	R6 目標値	数値の把握方法
市民1人当たり指定管理体育施設の利用回数の増加	5.14回	5.38回	指定管理者の報告書で把握
学校開放体育館稼働率の向上	51.4%	59.2%	利用予約、利用簿等により集計

南魚沼市トレーニングセンター



冬期間の運動不足解消にリズムに乗って有酸素運動「ボクシングフィットネス」



「トレーニングジムエリア」  
 フリーウエイト・各種マシン  
 ランニングマシン・エアロバイクあり

### 3 子ども（幼保・小・中）のスポーツ機会の充実

#### 【目 標】

学校・家庭・地域の連携により、日常的に運動に親しむ環境づくり

#### 【現状と課題】

- (1) 小学生は、体力テスト8項目のうち6項目以上の数値について県平均以上（前回計画の目標）だが、中学生は、県平均以上は男子は2項目、女子は0項目となっている。
- (2) 義務教育においては体力テストの結果にこだわらず、1学校1取組による体力向上を目指している。

#### 【取組事項】

幼稚園・保育園、小学校低学年のうちから、運動遊びを通して体を動かすことの楽しさを伝え、運動の習慣づけ、体力の向上を目指します。

ア 遊びをベースに体系化した、アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）※<sup>6</sup>の活用を目指します。

※<sup>6</sup>子ども達が楽しみながら積極的に体を動かせるプログラム

イ 南魚スポーツパラダイス及びスポーツ&ライフ南魚沼における教室内容の拡充や、各競技団体等との連携により、親子で楽しめるスポーツ教室を開催します。幼少期からスポーツに親しむ環境を整えます。県内プロチームからの各種教室開催にも取り組みます。

ウ 運動部活動の在り方に関するガイドライン等を踏まえ、人材の育成や指導者の養成に努めます。

エ 熱中症や新型コロナウイルス感染症など新たな脅威を含め、学校体育活動中の重大事故を限りなくゼロにするという認識の下で事故防止の取組を進めます。

ストライダー教室で体を動かすことの楽しさを伝えます  
「キッズストライダー大会」



競技スポーツのきっかけづくり  
ミニジャンプ体験会  
「南魚沼市長杯ジュニアジャンプ大会」

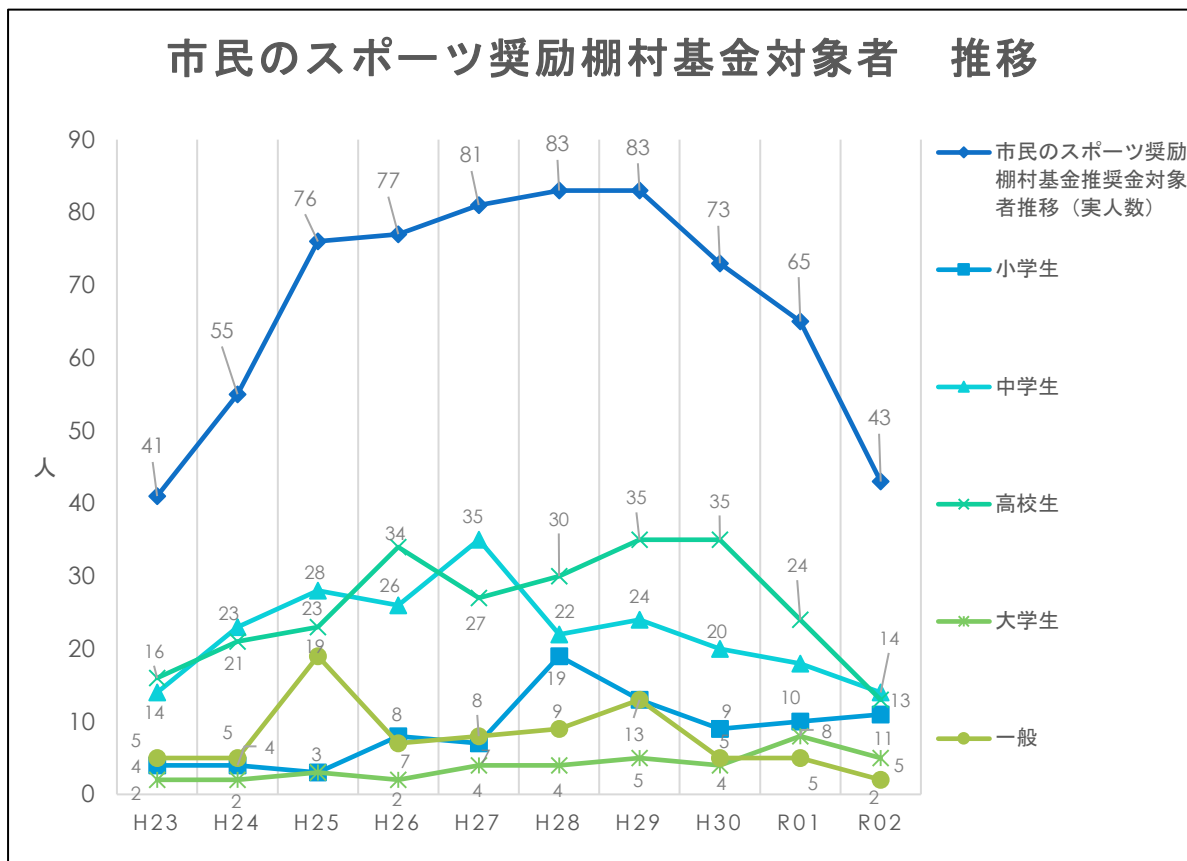
運動の習慣づけ・きっかけづくり  
「スポーツチャンバラ」



## 4 競技スポーツの推進

### 【目 標】

全国大会等出場者数【年間実人数 100 人以上】



### 補足（背景）

- ・令和元年から新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ大会の開催数が激減しました。
- ・少子化の影響などスポーツ人口が全体的に減少しています。

### 【現状と課題】

- (1) 競技スポーツへ誘導する環境が未整備である。
- (2) トップアスリートを養成できる指導者が不足している。
- (3) 部活動顧問による継続的指導が難しい状況である。
- (4) 地域で開催される「見るスポーツ」が周知不足である。

### 【取組事項】

#### (1) 競技者の育成・支援

- ア 神経系の発達により、運動神経・スポーツの上達に大切と言われている時期（2～9歳のプレゴールデンエイジ、9～11歳のゴールデンエイジ）に、様々な種目で

体を動かすことにより、その後選択した競技スポーツへの基礎づくりを行います。

(ア) 神経系に視点を置いた（複数の動きを同時に行うトレーニングで、動きやすい身体をつくる、自分の身体を思い通りに動かせるようになる）コーディネーショントレーニングを取り入れた学習活動

(イ) ジュニアスポーツにおいて、種目横断的に多種目経験できるスキームの確立

イ 南魚沼市ジュニア育成事業の創設を目指します。南魚沼市スポーツ協会と競技力向上分野で連携を進めます。

ウ 南魚沼市トレーニングセンターの利活用を図ります。トランポリン、ボルダリング、トレーニングマシンを使った体幹トレーニング等により、競技スポーツの基礎づくりを図ります。

## (2) 「みる」スポーツの推進

ア トップレベルのスポーツを観戦する機会や地域資源を活かした様々なスポーツ・レクリエーションイベントの拡充を図り、市民一人ひとりのスポーツへの関心を高め、スポーツの多様な楽しみ方にふれる機会の拡大を目指します。

イ 次世代を担う子どもたちや競技スポーツ選手への刺激となるよう、開催される全国レベルの大会等の「見るスポーツ」について、各競技団体からの協力を得て、SNSやスポーツ情報総合発信サイト「南魚沼 SPORTS CREATORS」、官民連携により大原通信・エフエム雪国などを通じて、競技スポーツの情報発信・PRを実施します。

- ① 地方創生交付金事業を活用したトップアスリートの競技誘致
- ② 見るスポーツの活性化促進
- ③ クラウドファンディングの計画
- ④ SNSを通じての周知活動

ウ 南魚沼市の地理的優位性を活かすことでトップアスリートの合宿誘致を進めるとともに、選手同士が交流することにより、地元競技者のレベルアップにもつなげます。

### 地元競技者・アスリートの周知活動「南魚沼 SPORTS CREATORS」ポスター

トップレベルのスポーツを観戦  
【見るスポーツ】の活性化促進  
「塩沢ジャンプ大会」



大会開催場所：石打丸山シャンツェ



#### 南魚沼スポーツクリエイターズとは？

「スポーツを創造する」をテーマに多くの企業団体様のご支援をいただき活動しています。

健康的でクリエイティブなライフスタイルを創造しその「入口」として皆様に活用いただくスポーツ総合情報サイトです。

南魚沼スポーツクリエイターズとは？  
健康的でクリエイティブなライフスタイルを創造しその「入口」として皆様に活用いただくスポーツ総合情報サイトです。

南魚沼スポーツクリエイターズとは？  
地元の企業・団体様のご支援をいただき活動しています。

南魚沼のスポーツを創造しよう

## 5 「ささえる」スポーツの推進

### (官民連携・地域間連携によるスポーツ推進体制の整備)

#### 【目 標】

地域をあげてスポーツ・運動を支援する体制を図ります。

#### 【現状と課題】

- (1) スポーツ部局と関連団体・他部局との連携がやや不足している。
- (2) スポーツイベントにおける運営役員の負担が増大している。
- (3) スポーツを通じて障害者や女性が社会参画できる環境整備が必要である。

#### 【取組事項】

##### (1) スポーツ分野と他分野との連携

ア 民間のスポーツ団体などの関係団体と連携し、地域を上げてスポーツを支援する体制の整備を推進します。

- ① 指導者の育成・資質向上に取り組みます。
- ② 企業・大学等との連携協定、産官学連携による体制整備に取り組みます。

【協定先】日本体育大学、明治安田生命保険、アールビーズなど

- ③ 学校部活動の地域移行に向けた指導者の確保に取り組みます。

##### イ 健康づくり分野

- ① 「自分の健康は自分でつくる」という意識で生涯を通じて誰もが健やかでいきいきとくらせる地域（まち）づくりの実現をめざして策定した、「いきいき市民健康づくり計画」と連動します。筋力づくり教室や健康推進委員の活動に、各地区からスポーツ経験者を発掘して、連携しながら地域での健康づくりを支援します。
- ② スポーツや運動を実施することで、健康インセンティブ（特典）を享受できる企画を立案・実施します。スポーツ実施＋健診受診＋イベント参加などで、各種インセンティブを付与します。「南魚沼市スポーツ健康都市宣言」宣言文を具体的施策に反映し、健康都市を目指します。健康ポイントや地域通貨等、インセンティブを活用した健康づくりに取り組みます。

##### ウ スポーツ交流分野

- ① スポーツを通じた市外・県外との交流のための体制を整備します。
- ② サイクルスポーツの振興による健康長寿社会の実現とサイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大、自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成を目指し、令和元（2019）年10月に「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」を設立しました。さらに、この取組をより広域的なものとするため「魚沼地域定住自立圏」の構成市町である湯沢町、南魚沼市及び魚沼市をはじめ、道路管理者や自転車に関連する市民団体等で構成する広域連携組織として、「湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会」を令和3（2021）年

3月に設立し、広域連携による自転車施策を推進します。

また、平成30年（2018）に本市が加盟した全国組織、「自転車活用推進したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」との連携も継続し、積極的な情報交換を行います。

#### 【スポーツ・健康に関する協定】

年度	項目	内容
H27	学校法人日本体育大学との体育・スポーツ振興に関する協定	相互の学校・施設における教育・研究及び課外活動
H30	オールアルビレックス・南魚沼市ジュニアの育成と情報発信に関する協定	市有施設の有効活用による事業協力と情報発信協力
R01	明治安田生命相互保険会社との健康増進に関する連携協定	市民の健康増進や市民サービスの向上
	村上市とのスポーツ振興連携協定	スポーツを通じた連携を図り、トップアスリートの育成・強化、ジュニア選手発掘・育成と地域の活性化を図る
	アルビレックスと新潟とのホームタウン協定	スポーツを通じた地域振興
R02	株式会社アールビーズとのスポーツ振興に関する包括連携協定	スポーツ振興及び健康増進の普及促進

#### (2) スポーツボランティア登録制度の構築

- ア 市立中学校、地元高校の運動部を中心にボランティア参加を呼びかけ、大会運営やスポーツイベントを体験することで、自らの競技活動に役立ててもらいます。
- イ 生徒にとっても教員にとっても魅力ある部活動の実現と適切な指導による技能向上のため、外部指導者の導入など先を見据えた取組を行います。

#### (3) スポーツを通じた共生社会等の実現

- ア 障害者スポーツ団体など関係団体の把握・連携を進めます。また、障害者をはじめ配慮が必要な多様な人々が、スポーツを通じて社会参画できるよう環境整備（障害者スポーツ指導者やボランティア育成など）を進めることにより、市民の意識が変わり（心のバリアフリー）、共生社会が実現されることを目指します。
- イ 女性のスポーツへの参加を促すための環境整備（ニーズや意欲に合ったスポーツ機会の提供など）を進め、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍を促進します。



# 資 料 編

## 策定経過

年	月 日	会 議 ・ 内 容
2	9月28日	令和2年度第1回スポーツ推進審議会にて次期南魚沼市スポーツ推進計画の策定方法について審議、アンケート調査を実施する旨、決議
3	3月24日	令和2年度第2回スポーツ推進審議会にて
	5月27日	令和3年度第1回スポーツ推進審議会 スポーツに関するアンケート調査の内容について審議、決議
	6月30日	アンケート調査票発送 18歳以上の市民2,000人(年代・性別ごとに均等にして無作為抽出)
	7月31日	アンケート調査票投函期限
	8～9月	アンケート調査集計 回収数 (回収率42.0%)
	9月29日	令和3年度第2回スポーツ推進審議会 スポーツに関するアンケート調査結果報告
	10月29日	令和3年度第3回スポーツ推進審議会
	11月26日	令和3年度第4回スポーツ推進審議会
	12月23日	教育委員会にてスポーツ推進計画について経過報告
4	1月15日	市報1月15日号にてパブリックコメント募集 募集期間1月20日(木)～2月17日(木)
	2月 日 (下旬)	令和3年度第5回スポーツ推進審議会 最終案確定
	3月 日 (下旬)	教育委員会にて審議・承認
	4月1日	市ウェブサイトにて新計画公表

スポーツ推進審議会委員名簿（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

No.	氏名	区分	役職	所属等
1	金山 武志	1号委員	会長	推進計画策定委員
2	若井 秀樹		副会長	市スポーツ協会副会長
3	岩井 初男			市スポーツ協会副会長
4	上村 光男			市スポーツ協会副理事長
5	野上 良枝			市スポーツ推進委員
6	山崎 文			市スポーツ推進委員
7	泉田 俊幸			新潟医療福祉大学
8	原澤 洋介			スポーツ&ライフ南魚沼
9	棚村 光正			推進計画策定委員
10	五十嵐 栄一			地区代表
11	樋口 浩昭	2号委員		市中学校体育連盟事務局(塩沢中)
12	高橋 圭祐			市小学校体育連盟事務局(城内小)
13	山崎 剛			南魚沼市文化スポーツ振興公社
14	瀬下 剛			市商工観光課
15	青野 睦枝			市保健課

※1号委員：スポーツに関する学識経験のある者

※2号委員：関係行政機関の職員

## 令和3年度

### スポーツに関するアンケート調査（結果）

実施計画：令和3年7月1日から7月31日

対象者：18歳以上の市民2,000人

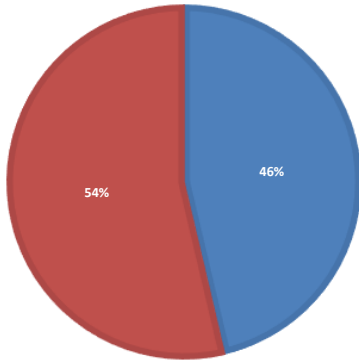
※年代・性別ごとに均等にして無作為抽出

回答率：41.6%

問1

問1【回答者数831】  
性別

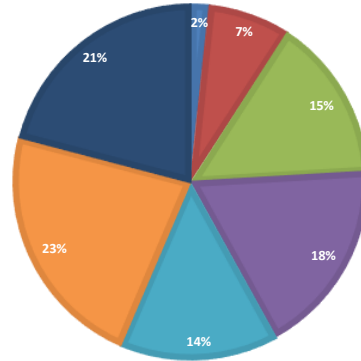
■男 ■女



問2

問2【回答者数831】  
年代

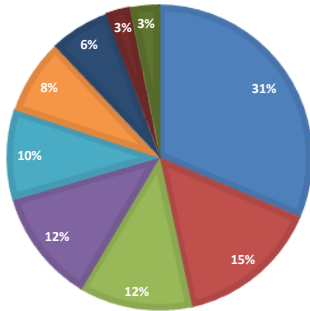
■10歳代 ■20歳代 ■30歳代 ■40歳代 ■50歳代 ■60歳代 ■70歳以上



問3

問3【回答者数828】  
職業

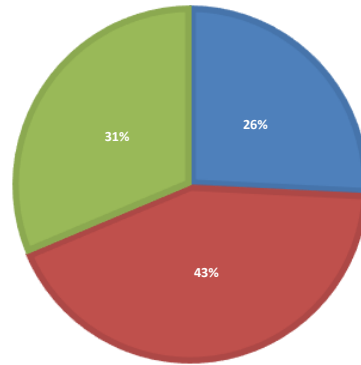
■会社員 ■無職 ■公務員、教、団  
■パート・アルバイト ■主婦 ■自営業(農林水)  
■自営業(商サ) ■学生 ■その他



問4

問4【回答者数830】  
住んでいる地域

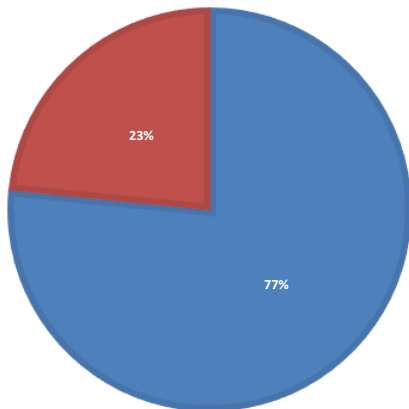
■大和 ■六日町 ■塩沢



問5

問5【回答者数828】  
運動やスポーツを行うことに興味がありますか

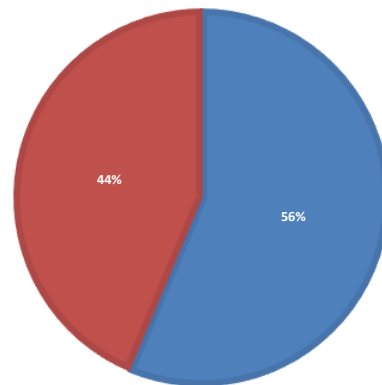
■ある ■ない



問6

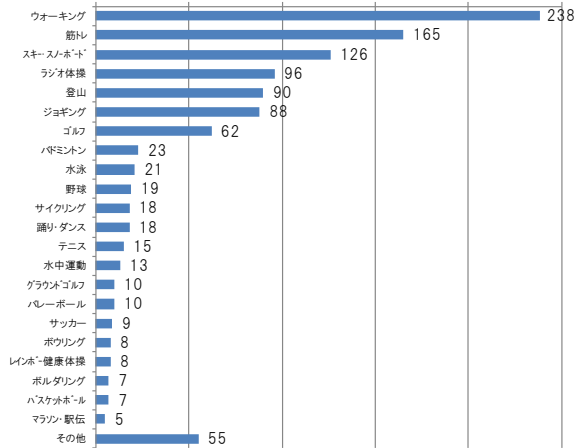
問6【回答者数822】  
この1年間に何かスポーツや運動をしましたか？

■した ■しなかった



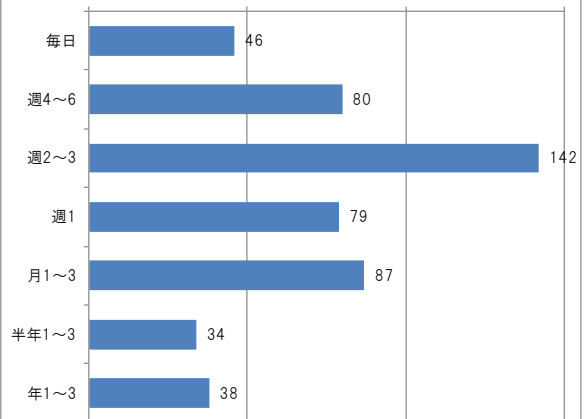
問7

問7 複数回答【回答数 1111】  
この1年間に実施したスポーツや運動は？



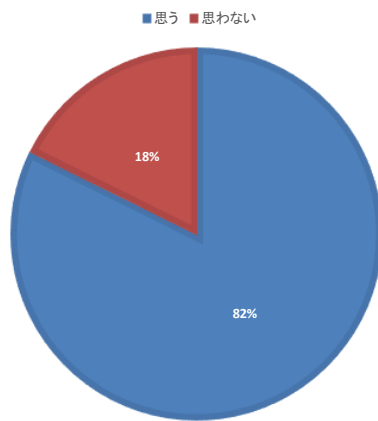
問8

問8【回答者数 506】  
どのくらいの割合でスポーツや運動をしますか？



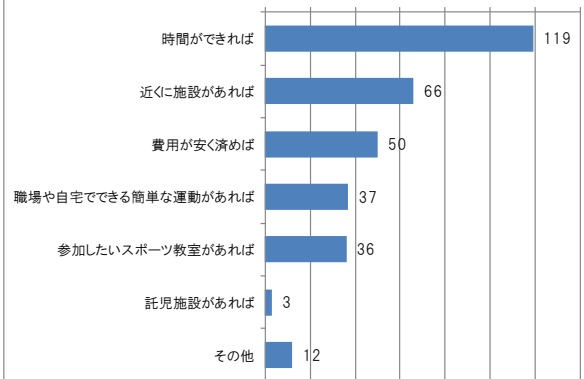
問9

問9【回答者数 226】  
できれば週1回くらいはスポーツや運動をしたいですか？



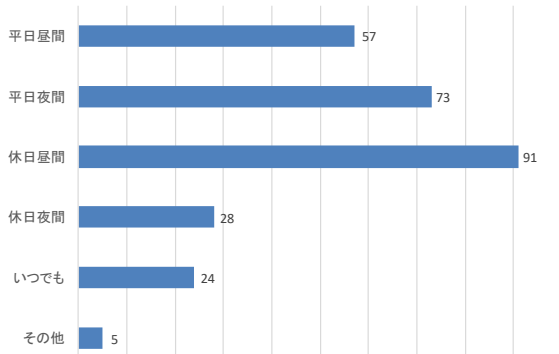
問10

問10 複数回答【回答数 323】  
どのような条件が整えば週1回くらいスポーツや運動をすることができますか？



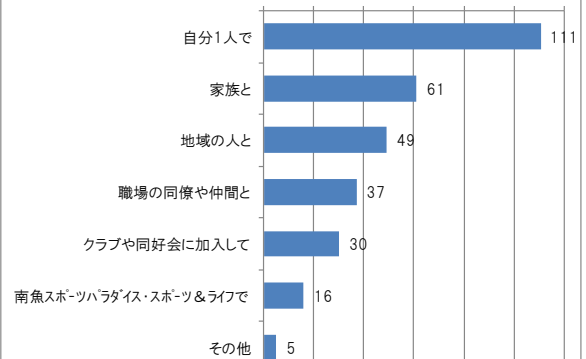
問11

問11 複数回答【回答数 278】  
週1回くらいスポーツや運動することができるのはいつですか



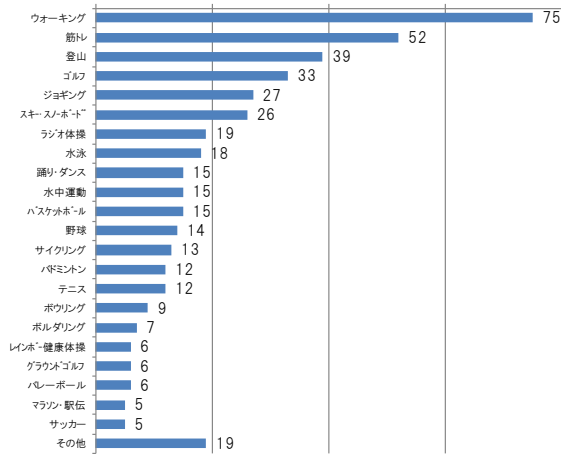
問12

問12 複数回答【回答数 309】  
週1回くらいスポーツや運動をどのように行いたいですか



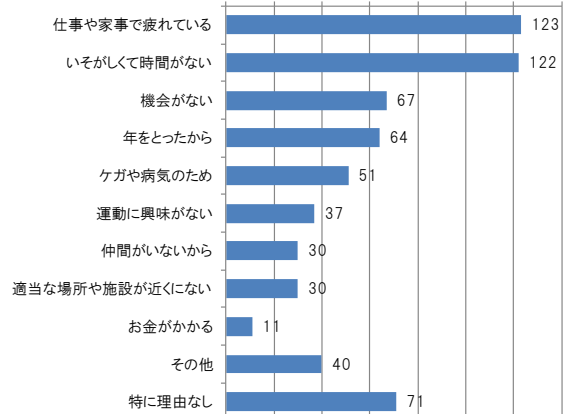
問13

問13 複数回答【回答数448】  
関心のあるスポーツや運動は



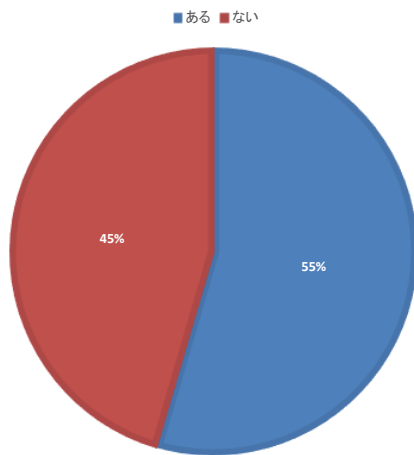
問14

問14 複数回答【回答数646】  
この1年間にスポーツや運動を「しなかった」主な理由は？



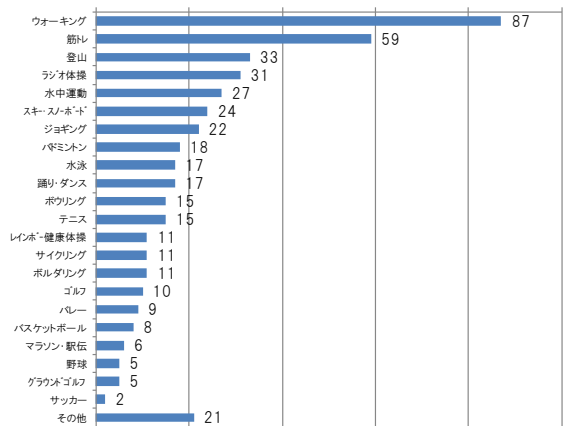
問15

問15 【回答者数343】  
やってみたいスポーツはありますか



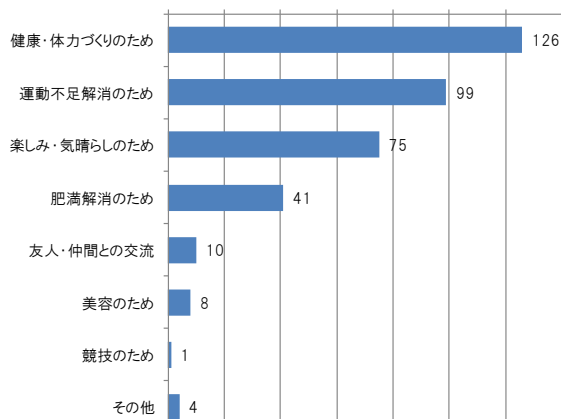
問16

問16 複数回答【回答数464】  
やってみたいと思うスポーツや運動がありますか？



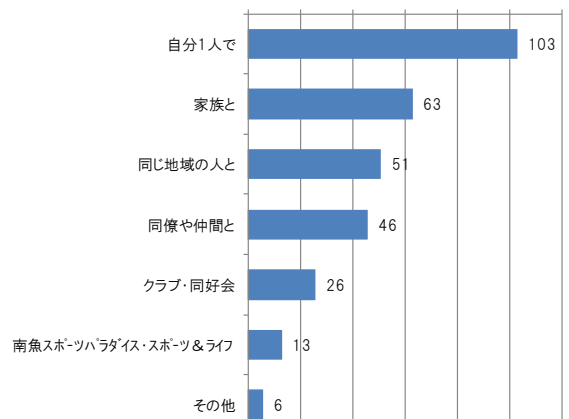
問17

問17 複数回答【回答数364】  
スポーツや運動をやりたいと思う理由は？



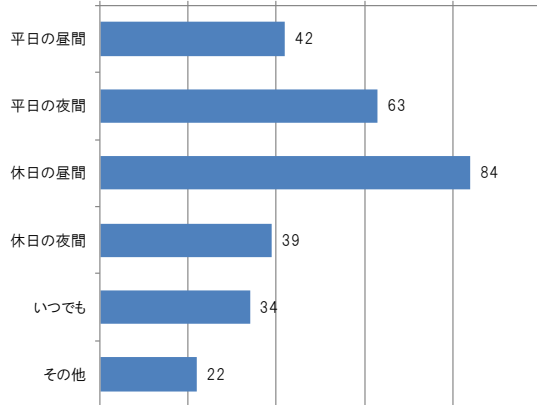
問18

問18 複数回答【回答数364】  
スポーツや運動をどのように行いたいですか？



問19

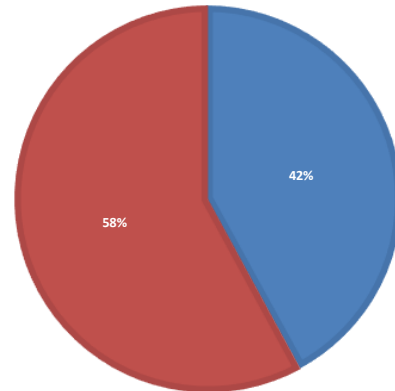
**問19 複数回答【回答数284】**  
**スポーツや運動を行うことができるのはいつですか？**



問20

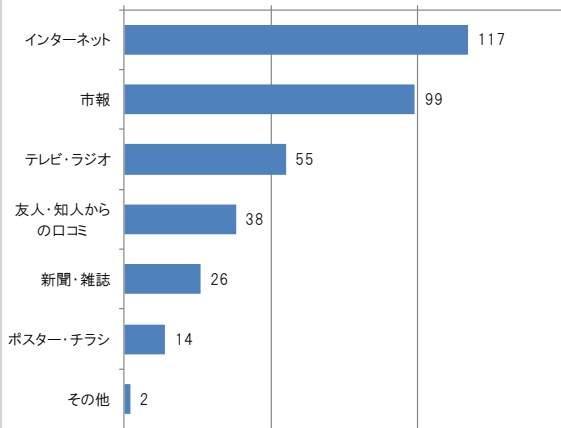
**問20-1【回答者数825】**  
**スポーツに関する情報入手していますか？**

■ 入手している ■ 特に入手していない



問20-2

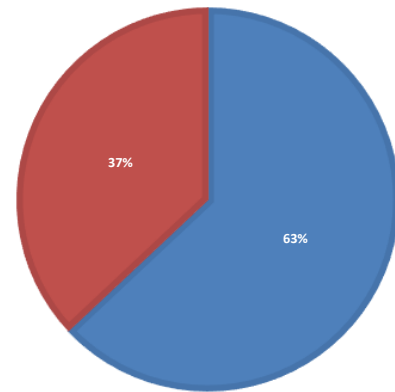
**問20-2【回答者数351】**  
**スポーツに関する情報は何で入手していますか？**



問21-1

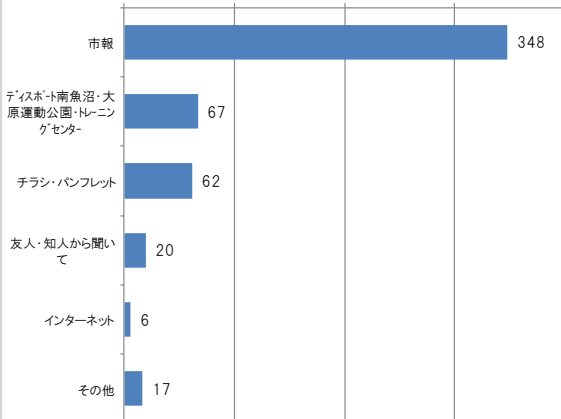
**問21-1【回答者数819】**  
**総合型地域スポーツクラブ「南魚沼スポーツパラダイス」や「スポーツ&ライフ南魚沼」を知っていますか？**

■ 知っている ■ 知らない



問21-2

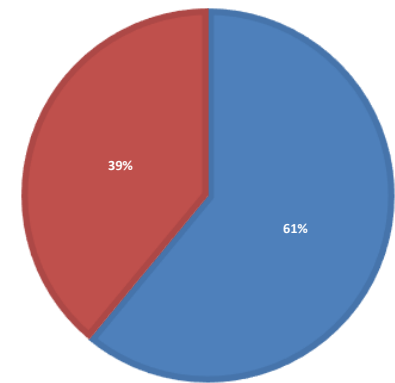
**問21-2【回答者数520】**  
**総合型地域スポーツクラブ「南魚沼スポーツパラダイス」や「スポーツ&ライフ南魚沼」を何で知りましたか？**



問22

**問22【回答者数818】**  
**テレビやラジオ又は実際に競技場などでスポーツ観戦をしますか？**

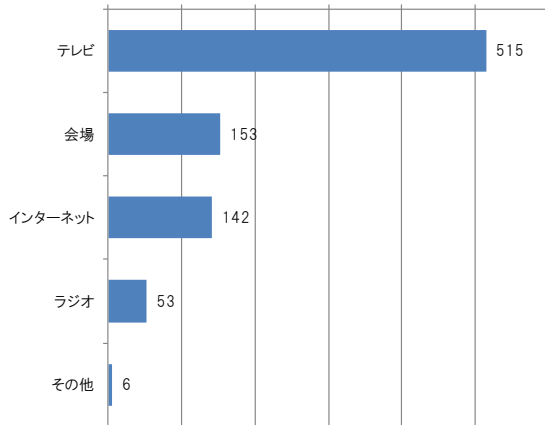
■ する ■ しない





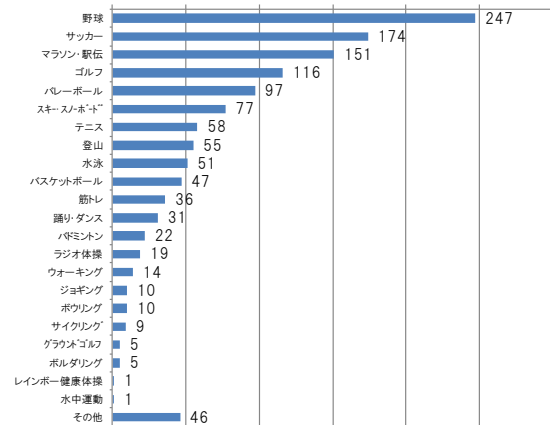
問23

**問23 複数回答【回答数 869】**  
どのような方法でスポーツ観戦をしますか？



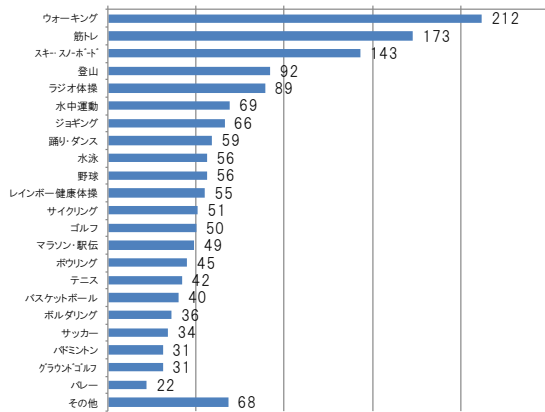
問24

**問24 複数回答【回答数 1282】**  
観戦するスポーツのなかで、関心のあるスポーツは？



問25

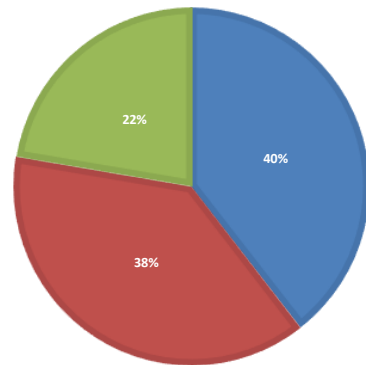
**問25 複数回答【回答数 1569】**  
市で充実してほしいスポーツは？



問26

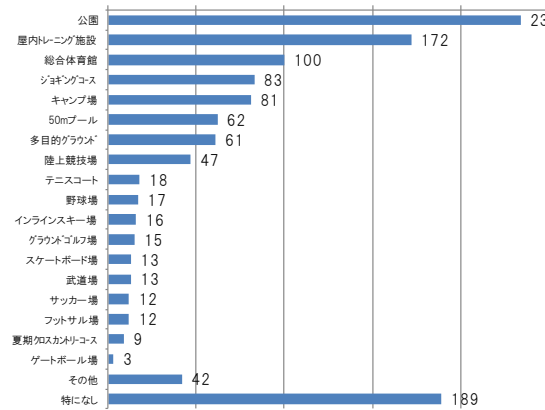
**問26【回答者数 798】**  
市内のスポーツ施設（屋内・屋外）に満足していますか？

■満足している ■満足していない ■わからない



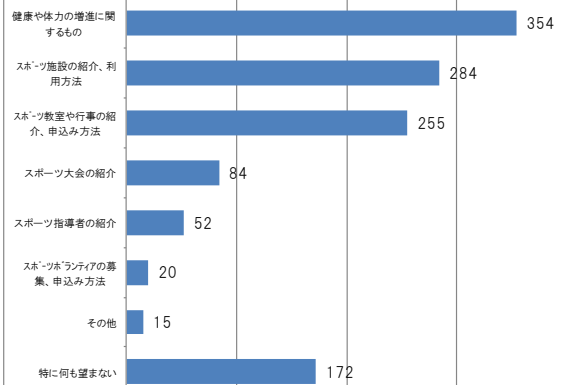
問27

**問27 複数回答【回答数 1199】**  
今後、市で整備してほしいスポーツ施設は？



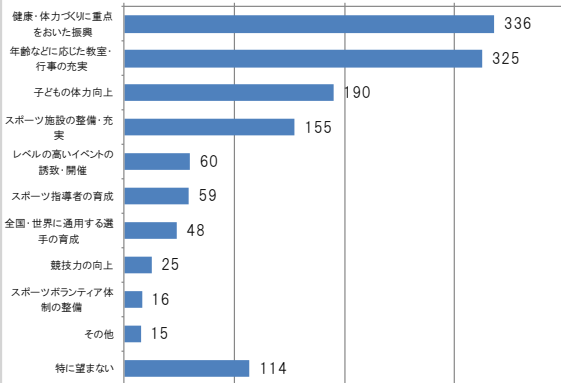
問28

**問28 複数回答【回答数 1236】**  
市が行うスポーツに関する情報提供に何を望みますか？



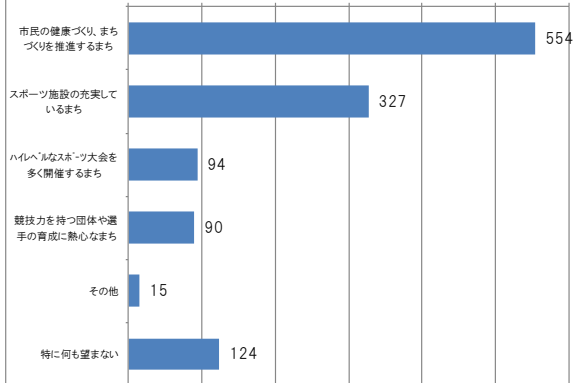
問29

**問29 複数回答【回答数 1343】**  
市のスポーツ振興に対して何を望みますか？



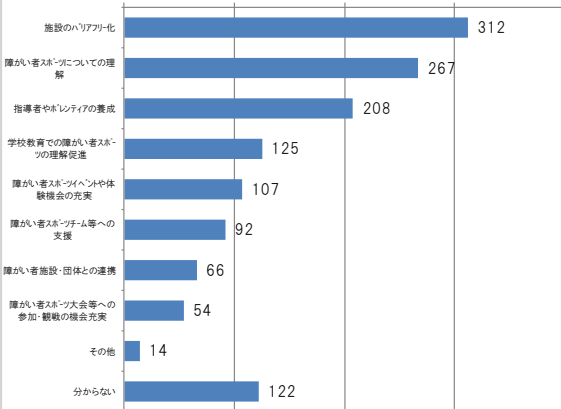
問30

**問30 複数回答【回答数 1204】**  
どのようなスポーツ都市像を望みますか



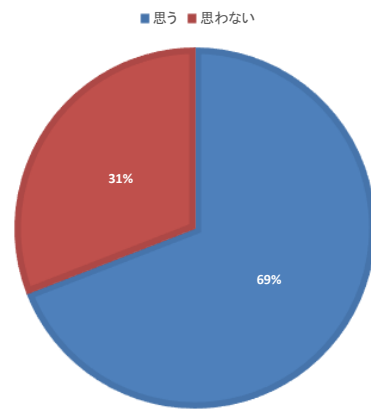
問31

**問31 複数回答【回答数 1367】**  
障がい者スポーツの振興を図るために必要なことはなんですか？



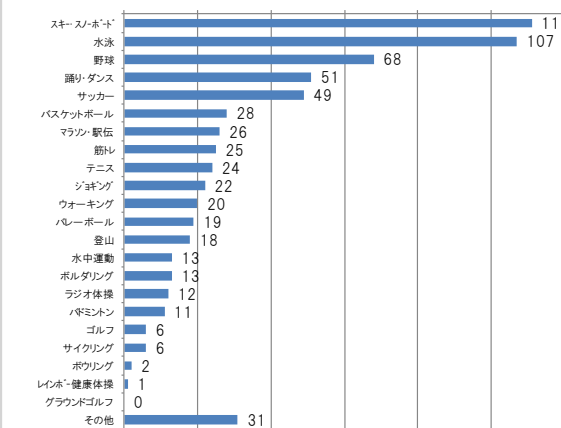
問33-1

**問33-1【回答者数 279】**  
子どもにスポーツやって(続けて)ほしいと思いますか？



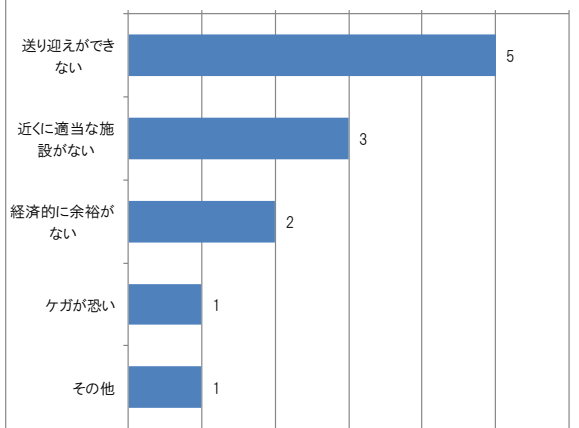
問33-2

**問33-2 複数回答【回答数 663】**  
どんなスポーツをして(続けて)ほしいですか？



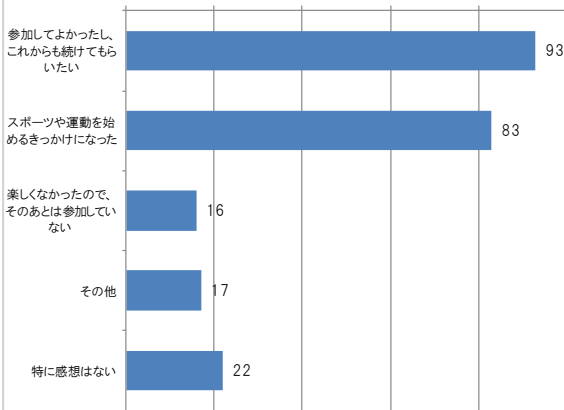
問34

**問34 複数回答【回答数 12】**  
子どもにスポーツをして(続けて)ほしいと思わない理由は何ですか？



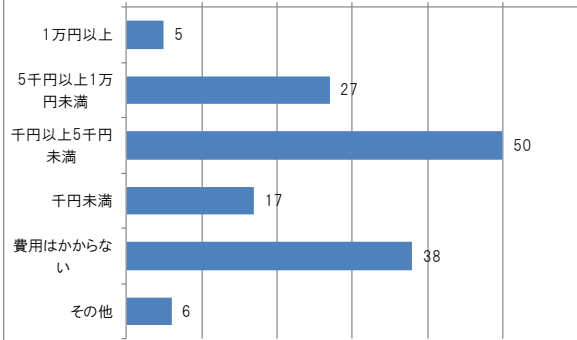
問35

**問35 複数回答【回答数 231】**  
 今までに市内のスポーツ行事やスポーツ教室に子どもが参加してみてどうでしたか？



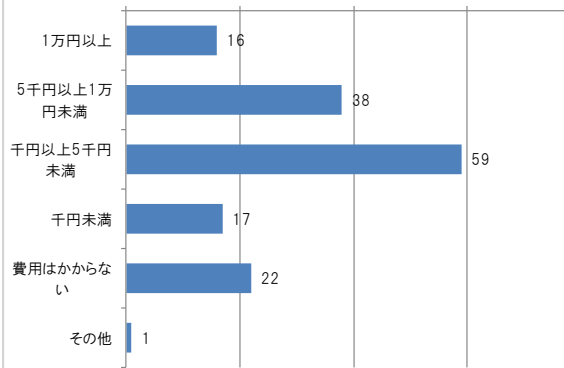
問36

**問36【回答者数 143】**  
 子どもが参加した市内のスポーツ行事やスポーツ教室にかかる費用は月どれくらいでしたか？  
 【未就学児】



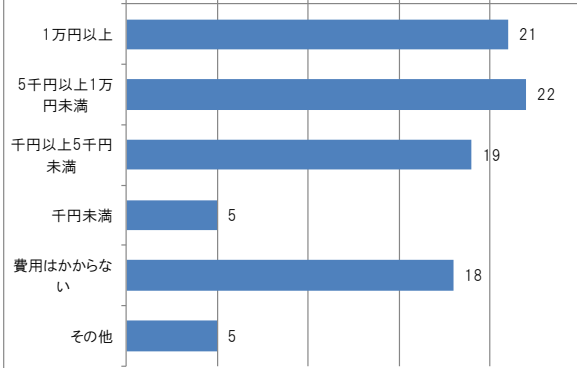
問36

**問36【回答者数 153】**  
 子どもが参加した市内のスポーツ行事やスポーツ教室にかかる費用は月どれくらいでしたか？  
 【小学時】



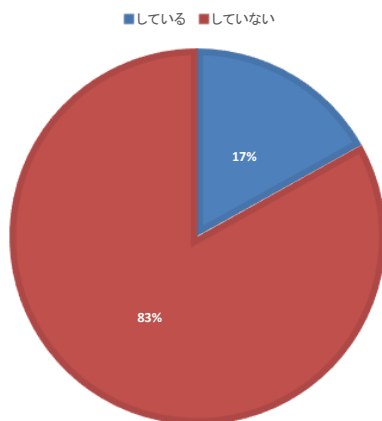
問36

**問36【回答者数 90】**  
 子どもが参加した市内のスポーツ行事やスポーツ教室にかかる費用は月どれくらいでしたか？  
 【中学生】



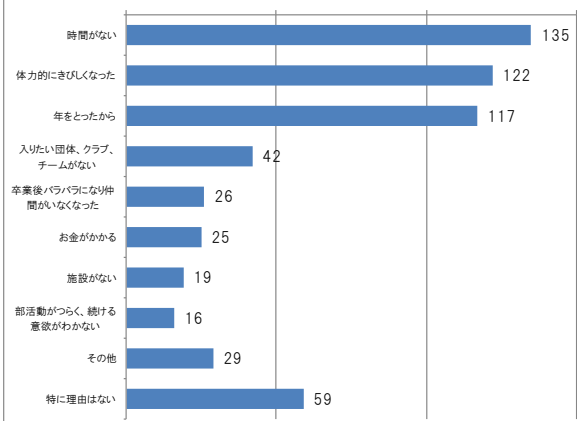
問37-1

**問37-1【回答者数 432】**  
 学生時代にスポーツ(部活動)をしていた方へ。  
 現在もスポーツをしていますか？



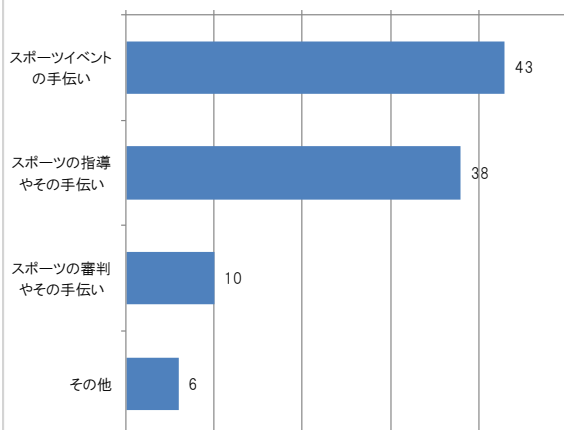
問37-2

**問37-2【回答者数 358】**  
 学生時代にスポーツ(部活動)をしていた方へ。  
 現在もそのスポーツをしていない理由は？



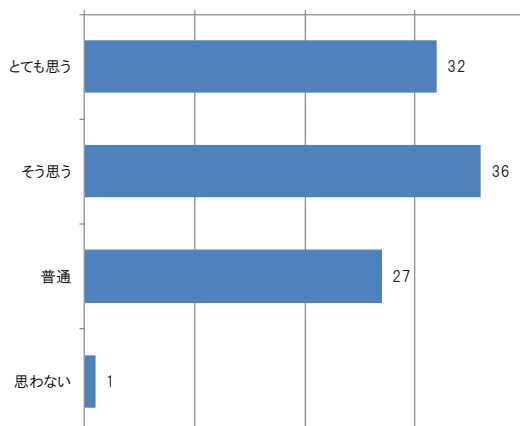
問38

**問38【回答者数 97】**  
**スポーツボランティアをしたことがある方へ。**  
**どのようなボランティアですか？**



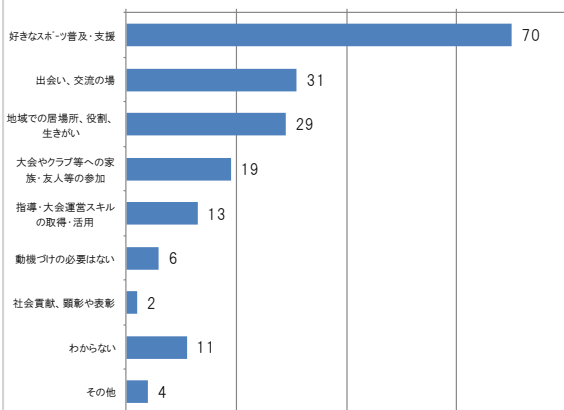
問39

**問39【回答者数 96】**  
**スポーツボランティアをして楽しかったですか？**



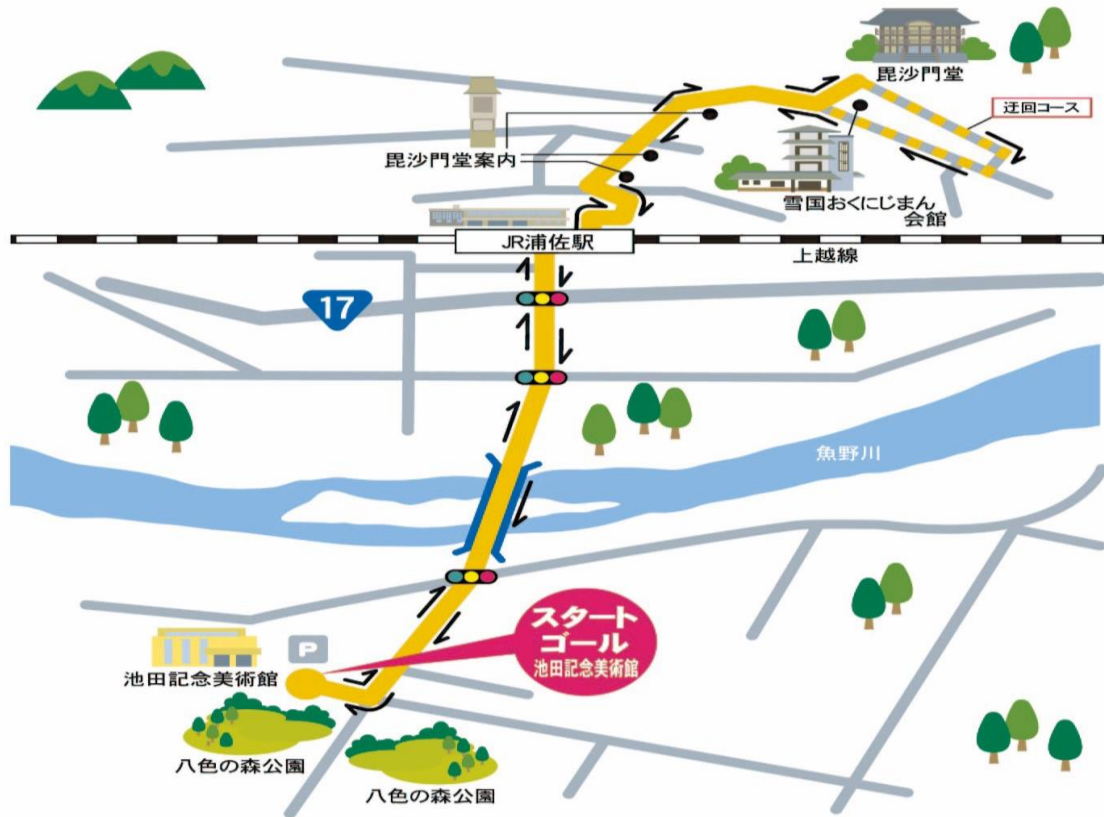
問40

**問40 複数回答【回答数 185】**  
**スポーツボランティアをする(続ける)にはどんなきっかけが必要になりますか？**



南魚沼市ウォーキングコース(新潟県健康ウォーキング認定)

南魚沼市 天地人 毘沙門堂ウォーキングロード



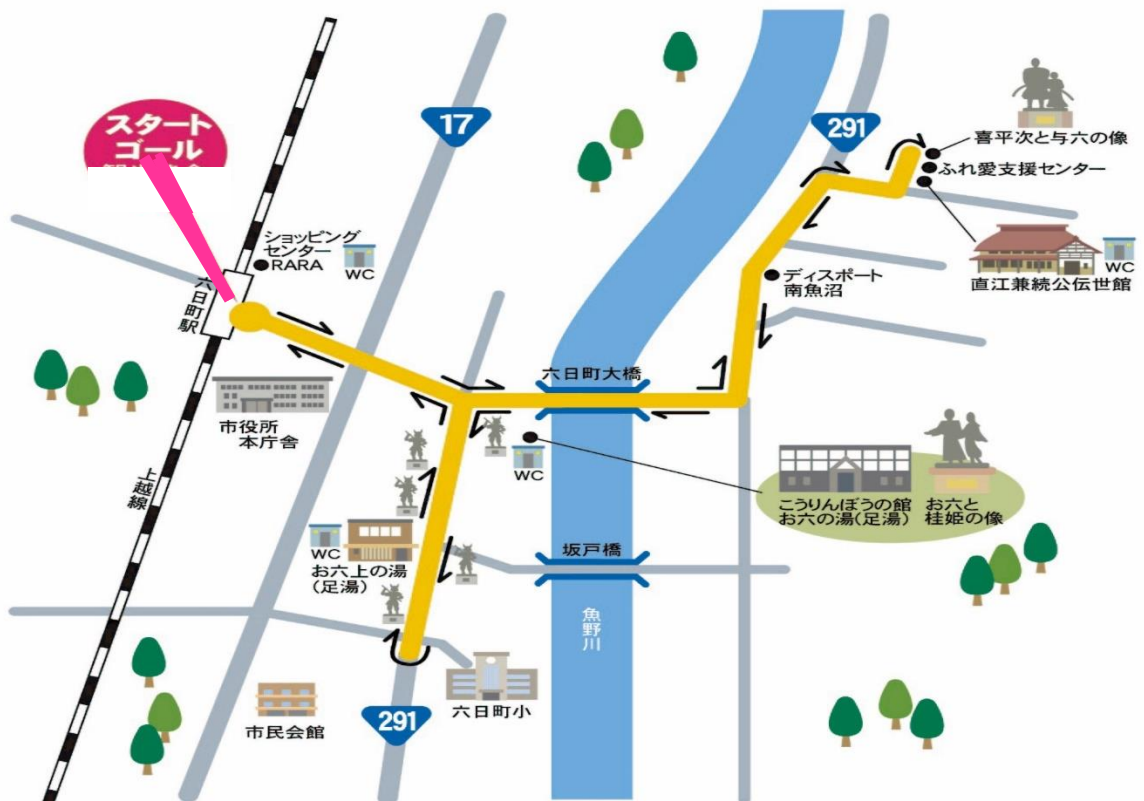
南魚沼市 八色の森公園コース



南魚沼市 天地人坂戸城跡・銭淵公園  
ウォーキングロード



南魚沼市 六日町駅前通り・兼続地区 まち歩きコース



## 南魚沼市 天地人上田の庄・登川ウォーキングロード



## 南魚沼市 ゆきぐに牧之通りまち歩きコース



## 南魚沼健康ポイント事業

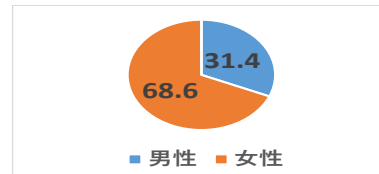
近年の住民健診問診項目の市町村比較では、生活改善の取組意欲が30市町村中最下位です。南魚沼健康ポイント事業を活用することで、積極的に健康づくりに取り組む人を増加させるとともに市全体の健康に関する意識を高めることが期待できます。

### 〈結果〉

(1) 参加者（応募者数） (単位：人)

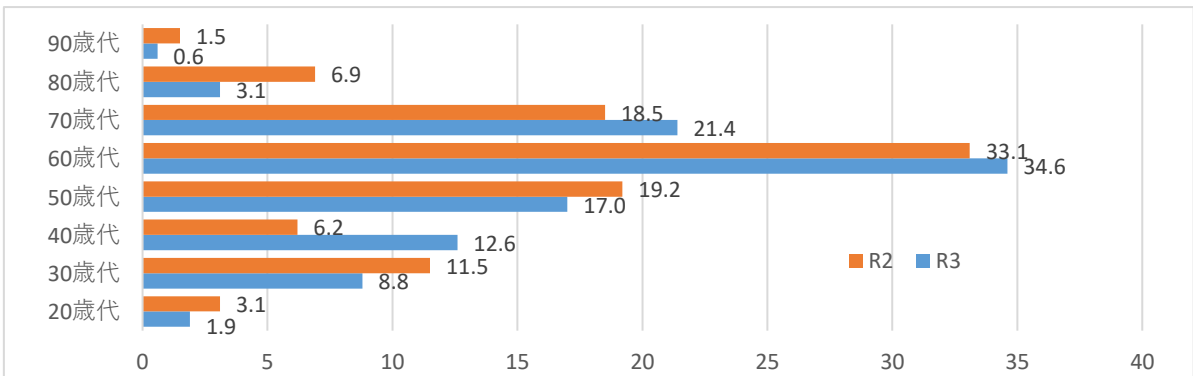
R2		R3	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
130	168	161	312

(2) 参加者（男女別） (単位：%)



(3) 参加者（年代別）

(単位：%)



(4) アンケート

		(単位：%)				(単位：%)	
参加理由	R2	R3	健康への意識	R2	R3		
健康づくりのため	58.5	73.0	高まった	70.0	79.9		
家族・知人のすすめ	10.8	13.2	変わらない	20.0	18.9		
景品がもらえるから	26.9	10.1	空欄	10.0	1.3		
その他	3.8	3.1					
空欄	4.6	0.6					
				(単位：%)			
		(単位：%)		運動継続への意識	R2	R3	
自主的な取組み	R2	R3	はい	86.2	96.2		
健康ポイントがきっかけで始めた	14.6	13.2	いいえ	0.0	0.0		
以前から取り組んでいる	80.8	85.5	景品があれば継続	10.8	3.1		
空欄	4.6	1.3	空欄	3.1	0.6		

・参加者は63.6%が女性です。運動に関心がなく運動習慣のない50歳代以下（南魚沼市いきいき市民健康づくり計画（第2次））の参加者は4割程度となっています。健康ポイント事業がきっかけで自主的な健康づくりの取組を始めた人は13.3%いま